



平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月8日

上場取引所 東

上場会社名 日本カーバイド工業株式会社

コード番号 4064 URL <http://www.carbide.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 平田 泰稔

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 角田 尚久

TEL 03-5462-8212

四半期報告書提出予定日 平成26年8月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	13,323	0.9	274	△21.9	302	△38.8	△119	—
26年3月期第1四半期	13,200	9.9	351	12.1	493	114.6	180	90.4

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 △321百万円 (—%) 26年3月期第1四半期 1,433百万円 (97.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	△1.46	—
26年3月期第1四半期	2.20	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第1四半期	61,939	20,896	32.3
26年3月期	64,403	21,345	31.8

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 19,990百万円 26年3月期 20,481百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	2.00	2.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	0.00	—	2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	28,000	6.2	900	66.0	800	11.9	500	10.2	6.11
通期	57,000	2.5	2,300	64.6	2,200	38.0	1,000	111.8	12.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期1Q	81,940,298 株	26年3月期	81,940,298 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

27年3月期1Q	58,005 株	26年3月期	57,784 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期1Q	81,882,459 株	26年3月期1Q	81,884,029 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想(平成26年5月13日公表)の見直しは行っておりません。本資料に掲載している業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する情報	4
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、米国では引き続き堅調に推移し、欧州諸国でも緩やかながら回復の傾向にあるものの、中国を中心としたアジア新興国における成長ペースの鈍化などにより、依然として不透明な状況で推移しました。一方、わが国では、消費税増税前需要の反動が見られるものの、景気回復政策などを背景に雇用や所得水準は上昇し、個人消費にも持ち直しの動きが見られるなど、緩やかな回復基調で推移しました。

当社グループにおいては、建設・建材関連分野では、住宅着工戸数の増加などもあり順調に推移したものの、機能製品分野では、原材料価格の高騰などの影響を受け低調に推移しました。

このような状況のもと、当社グループの当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は133億2千3百万円と前年同期比1億2千2百万円(0.9%増)の増収、営業利益は2億7千4百万円と前年同期比7千6百万円(21.9%減)の減益、経常利益は3億2百万円と前年同期比1億9千1百万円(38.8%減)の減益、四半期純損失は1億1千9百万円(前年同期は1億8千万円の利益)となりました。

セグメント別の概況は、次のとおりであります。

(機能製品)

当セグメントの主な取扱製品は、ファインケミカル製品、メラミン樹脂、接着製品、マーキングフィルム、ステッカー、包装用フィルムなどであります。

このうち、ファインケミカル製品は農薬関連向けは低調でしたが、電子材料向けが順調に推移し、前年同期並となりました。メラミン樹脂製品は国内向けが堅調に推移し、前年同期比増収となりました。接着製品は光学関連分野向けが振るわず、前年同期比減収となりました。マーキングフィルムは国内向けが低調となり、前年同期比減収となりました。ステッカーは東南アジア地域での販売が振るわず、前年同期比減収となりました。包装用フィルムは中国での販売が低調となり、前年同期比減収となりました。

以上により、当セグメントの売上高は59億1千4百万円と前年同期比5億2千8百万円(8.2%減)の減収、セグメント利益は4億1千3百万円と前年同期比2億7千6百万円(40.1%減)の減益となりました。

(電子・光学製品)

当セグメントの主な取扱製品は、再帰反射シート、セラミック基板、厚膜印刷製品、プリント配線板などあります。

このうち、再帰反射シートは欧州向けが順調に推移し、前年同期比増収となりました。セラミック基板はデジタル家電向けは低調でしたが、スマートフォン向けが堅調に推移し、前年同期並となりました。プリント配線板はアミューズ関連向けは順調でしたが、情報関連向けが振るわず、前年同期比減収となりました。

以上により、当セグメントの売上高は33億8千6百万円と前年同期比4千2百万円(1.3%増)の増収となったものの、セグメント損失は2億3千7百万円(前年同期は2億5千4百万円の損失)となりました。

(建材関連)

当セグメントの主な取扱製品は、住宅用アルミ建材などであります。

住宅用アルミ建材は主力の手摺、笠木等の販売が伸長しました。

以上により、当セグメントの売上高は30億円と前年同期比7億5千万円(33.3%増)の増収、セグメント利益は2億1百万円と前年同期比1億4千3百万円(246.6%増)の増益となりました。

(エンジニアリング)

当セグメントの主な事業内容は、産業プラントの設計・施工などであります。

産業プラントの設計・施行は国内向け工事案件の完工が増加しました。

以上により、当セグメントの売上高は25億9千7百万円と前年同期比14億7千7百万円(131.9%増)の増収、セグメント利益は4千2百万円と前年同期比2千3百万円(121.1%増)の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前期末比24億6千3百万円減少し、619億3千9百万円となりました。

このうち、流動資産は、大型工事案件に係る売上債権の回収により、前期末比21億7千1百万円減少し、291億9百万円となりました。固定資産は、設備投資案件が少なかったことなどにより、前期末比2億9千2百万円減少し、328億3千万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前期末比20億1千5百万円減少し、410億4千2百万円となりました。

このうち、流動負債は、短期借入金の返済などにより、前期末比15億5千4百万円減少し、275億4千8百万円となりました。固定負債は、長期借入金の約定弁済や退職給付に係る負債の減少などにより、前期末比4億6千1百万円減少し、134億9千3百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、剰余金の配当や為替換算調整勘定の変動などにより、前期末比4億4千8百万円減少し、208億9千6百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の31.8%から0.5ポイント改善し、32.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年5月13日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する情報

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

一部の連結子会社については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（退職給付に関する会計基準等の適用）

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準委員会 平成 24 年 5 月 17 日 企業会計基準第 26 号）第 35 項及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準委員会 平成 24 年 5 月 17 日 企業会計基準適用指針第 25 号）第 67 項の定めについて、当第 1 四半期連結会計期間より適用しております。

これに伴い、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を従業員の平均残存期間に近似した年数に基づく割引率から、退職給付の支払見込期間ごとに設定された複数の割引率に使用する方法へ変更しております。

同会計基準第 37 項の定めに従い遡及処理せず、当第 1 四半期連結会計期間の期首において当該変更に伴う影響額を利益剰余金に加減した結果、主として退職給付に係る負債が 133 百万円減少し、利益剰余金が 65 百万円増加しております。

なお、当第 1 四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,675	5,700
受取手形及び売掛金	16,376	14,259
商品及び製品	4,880	5,128
仕掛品	1,577	1,193
原材料及び貯蔵品	1,933	2,080
その他	994	892
貸倒引当金	△157	△147
流動資産合計	31,280	29,109
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	7,250	6,992
土地	13,497	13,592
その他(純額)	6,364	6,309
有形固定資産合計	27,111	26,893
無形固定資産	498	490
投資その他の資産		
その他	5,737	5,653
貸倒引当金	△225	△206
投資その他の資産合計	5,512	5,446
固定資産合計	33,122	32,830
資産合計	64,403	61,939

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,510	10,344
短期借入金	14,460	13,922
未払法人税等	331	77
賞与引当金	496	533
その他	3,303	2,671
流動負債合計	29,102	27,548
固定負債		
長期借入金	6,487	6,297
退職給付に係る負債	3,261	3,060
役員退職慰労引当金	108	65
再評価に係る繰延税金負債	3,745	3,745
その他	352	324
固定負債合計	13,954	13,493
負債合計	43,057	41,042
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,034	7,034
資本剰余金	2,404	2,404
利益剰余金	3,750	3,532
自己株式	△10	△10
株主資本合計	13,179	12,960
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△5	13
繰延ヘッジ損益	△7	△9
土地再評価差額金	6,683	6,683
為替換算調整勘定	952	576
退職給付に係る調整累計額	△320	△234
その他の包括利益累計額合計	7,302	7,029
少数株主持分	863	906
純資産合計	21,345	20,896
負債純資産合計	64,403	61,939

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	13,200	13,323
売上原価	10,130	10,255
売上総利益	3,069	3,067
販売費及び一般管理費	2,718	2,792
営業利益	351	274
営業外収益		
受取利息	10	21
受取配当金	43	59
その他	189	61
営業外収益合計	243	142
営業外費用		
支払利息	64	56
その他	36	58
営業外費用合計	101	114
経常利益	493	302
特別利益		
固定資産売却益	13	—
特別利益合計	13	—
特別損失		
固定資産除却損	6	51
減損損失	62	—
特別退職金	132	—
特別損失合計	201	51
税金等調整前四半期純利益	305	250
法人税、住民税及び事業税	187	177
法人税等調整額	△108	111
法人税等合計	79	288
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	226	△37
少数株主利益	46	81
四半期純利益又は四半期純損失(△)	180	△119

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	226	△37
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	96	8
繰延ヘッジ損益	43	△1
為替換算調整勘定	1,066	△376
退職給付に係る調整額	—	85
持分法適用会社に対する持分相当額	—	0
その他の包括利益合計	1,206	△283
四半期包括利益	1,433	△321
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,299	△392
少数株主に係る四半期包括利益	133	70

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

	報告セグメント					調整額 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円)
	機能製品 (百万円)	電子・光学 製品 (百万円)	建材関連 (百万円)	エンジニア リング (百万円)	合計 (百万円)		
売上高							
外部顧客への売上高	6,362	3,344	2,250	792	12,748	452	13,200
セグメント間の内部 売上高又は振替高	80	0	0	328	408	△408	—
計	6,442	3,344	2,250	1,120	13,156	44	13,200
セグメント利益又は 損失(△)	689	△254	58	19	512	△19	493

- (注) 1 外部顧客への売上高の調整額には、請負工事に係る収益計上のうち工事進行基準に基づく売上高が含まれております。
- 2 セグメント利益の調整額には、棚卸資産に係る未実現損益及び各セグメントに配分していない一般管理費が含まれております。
- 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)

	報告セグメント					調整額 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円)
	機能製品 (百万円)	電子・光学 製品 (百万円)	建材関連 (百万円)	エンジニア リング (百万円)	合計 (百万円)		
売上高							
外部顧客への売上高	5,825	3,384	2,997	2,358	14,565	△1,242	13,323
セグメント間の内部 売上高又は振替高	89	2	3	239	333	△333	—
計	5,914	3,386	3,000	2,597	14,898	△1,575	13,323
セグメント利益又は 損失(△)	413	△237	201	42	420	△118	302

- (注) 1 外部顧客への売上高の調整額には、請負工事に係る収益計上のうち工事進行基準に基づく売上高が含まれております。
- 2 セグメント利益の調整額には、棚卸資産に係る未実現損益及び各セグメントに配分していない一般管理費が含まれております。
- 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。